

「ツタヤ図書館」の資料区分を検証する その7 —5つの「ツタヤ図書館」のシステムを中間総括する—

Verify the TSUTAYA Classification, Part7 : Based on Five Systems of “Tsutaya Library” .

川瀬綾子† 北克一††

KAWASE Ayako† KITA Katsuichi††

要旨：TSUTAYAを運営するカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社が公立図書館の運営を担い5年が経過した。そして、2018年2月3日に第5の「ツタヤ図書館」となる周南市立徳山駅前図書館が開館した。本稿では、5つの「ツタヤ図書館」のシステムを中間総括する。対象図書館は、武雄市図書館、海老名市立図書館、多賀城市立図書館、高梁市立図書館、及び周南市立徳山駅前図書館の検索・予約システム等である。

キーワード：ツタヤ図書館、カルチュア・コンビニエンス・クラブ、CCC分類、ライフスタイル分類、武雄市図書館、海老名市立図書館、多賀城市立図書館、高梁市立図書館、周南市立徳山駅前図書館、周南市立図書館

Keywords : TSUTAYA Library, Culture Convenience Club Co.Ltd., CCC Classification, Lifestyle Classification, Takeo City Library, Ebina City Library Tagajyo City Library, Takahashi City Library, Shunan Municipal Tokuyama-ekimae Library, Shunan City Library

1. はじめに

TSUTAYAを運営するカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社(増田宗昭代表取締役社長兼CEO；非上場；以下、CCC)が公立図書館の運営を担い5年が経過した¹。

2013年4月の佐賀県武雄市の武雄市図書館²を皮切りに、2015年10月に神奈川県海老名市の海老名市立中央図書館³が「ツタヤ図書館」としてリニューアルオープンしている。また、宮城県多賀城市の多賀城市立書館(本館)⁴は駅前に移転し、第3の「ツタヤ図書館」として2016年3月21日に開館した⁵。

また、2017年2月4日にはJR備中高梁駅隣接の複合施設中に、高梁市図書館が新規開館した⁶。さらに、2018年2月3日に第5の「ツタヤ図書館」となる周南市立徳山駅前図書館が開館した。

なお、2018年4月1日に延岡駅隣接の複合商業施設「エンクロス」内の第六の「ツタヤ図書館」

となる蔵書2万冊程度の小規模の延岡市立駅前図書館(仮称)は、新市長の判断で「エンクロス」全体の委託業務の費用対効果費を見直すため、延期するとなっていたが、市議会での審議を受けて、一転、4月13日に「エンクロス」全体のオープンを行うことになった。

また、「ツタヤ図書館」の開館準備中、導入検討中のところには、和歌山県和歌山市などがある⁷。

本稿では、5つの「ツタヤ図書館」の検索・予約システム等を比較・検討し、中間総括をする。対象図書館は、武雄市図書館、海老名市立図書館、多賀城市立図書館、高梁市立図書館、周南市立中央図書館、及び、周南市立徳山駅前図書館の検索・予約システム等である。

2. Top Page のメニュー

本章では、Top Page のデザイン及びメニューについて取り上げる。

比較・検討対象を5つの「ツタヤ図書館」のTop Page とする。

† 川瀬綾子 京都外国語大学等

†† 北 克一 大阪市立大学

2.1 武雄市図書館

最初に「ツタヤ図書館」となった武雄市図書館は、海老名市立図書館以降の「ツタヤ図書館」(以下、「海老名市立図書館等」)の Top Page とは異なる。武雄市図書館の Top Page は、「検索・予約」以下、8つのサービスメニューを表示している。

- ・お知らせ
- ・検索・予約：資料の検索
- ・館内 MAP：館内のご案内
- ・新着図書：あたらしい本のご案内
- ・アクセス：交通のご案内
- ・ランキング：人気の本をご紹介
- ・ご利用案内：本の貸出について
- ・こどもページ

なお、児童対応(武雄市図書館では、「こどもページ」)については、別途に取り上げる。

2.2 海老名市立図書館等

海老名市立図書館等の「ツタヤ図書館」群の Top Page は、基本的には同一デザインの範囲内であるが、それぞれ微妙に異なっている。3つの理由が推測される。

- (1) 「ツタヤ図書館」システム自体が、武雄市図書館での手探り開発から始まり、徐々にパッケージ・システムとして展開してきた。
- (2) 「ツタヤ図書館」システムの細部は、パラメータ選択で、一定程度の範囲は系統的に個別対応が可能となっている。
- (3) 指定管理者の受託の範囲が、1) 対象自治体の図書館網のすべて、2) 対象自治体の図書館の一部で、かつ、過去を引き継ぎ、3) 対象自治体の図書館の一部で、かつ、新設、などの受託パターンでシステム展開が異なる。

また、海老名市立図書館等の「ツタヤ図書館」の Top Page の中位置には、「Top」、「検索・予約」、「新着図書」、「ランキング」、「イベント」、「こどもとしゃかん」⁸の選択ボタンがある。

「Top」は他のボタン機能を選択して変移したときに、Top Page に戻るボタンである。

「検索・予約」は、OPAC での検索や検索結果

から予約へと変移する機能である。後に、別途論じる。

なお、以降の検討では海老名市図書館を、海老名市立図書館等のデフォルト図書館システムとして検討し、異なる部分は明示する。

2.2.1 多言語対応

武雄市図書館は、多言語対応をしていない。海老名市立図書館等の「ツタヤ図書館」は、Top Page の上部に「ご利用ガイド」、「アクセス / MAP」、「よくある質問」、「文字サイズ 小・中・大」、「English / 日本語」、「検索窓」が並んでいる。

多言語対応用と見られる「English / 日本語」という選択ボタンから、「English」を選択すると、「ご利用ガイド」、「アクセス / MAP」の文字列が、「GUIDE」及び「ACCESS / MAP」の表示に変わる。しかしながら、他の「よくある質問」、「文字サイズ 小・中・大」、「English / 日本語」、「検索窓」の表現は日本語のままである。

この2コンテンツ(「ご利用ガイド」、「アクセス / MAP」)のみが内容も英語表現に変わる。ただし、「ACCESS / MAP」の中の地図が日本語地図であるのは、疑問である。

また、他のお知らせ事項や OPAC 等の検索・予約などの英語化には対応していない。Top Page のメニュー項目のうち、2つのお知らせだけの英文対応だけでなく、OPAC 等の項目名、メッセージ等も多言語対応にするべきであろう。更に、多言語対応は英語だけで良いのかといった検討も今後必要となろう。

2.2.2 視覚障害者対応

武雄市図書館は、文字サイズの拡大、縮小といった対応や文字や背景の色の変更が出来ない。一方、海老名市立図書館等の「ツタヤ図書館」では、文字サイズの変更は出来るものの、文字や背景の色の変更は出来ない。今後両図書館システムとも改善が必要となろう。

2.2.3 「新着図書」機能

「新着図書」機能は、単に新着図書リストの表示機能ではない。海老名市立図書館を事例に機能を解析する。

「新着図書」をクリックすると、自動的に「検索・予約」システムに変移し、次の結果が表示される⁹。

図1 「新着図書」機能の結果表示

検索・予約
新着図書検索__該当件数は 853 件です。
対象・期間を絞り込む
検索対象— 新着のみ / 新刊のみ
検索期間— 1 か月 / 1 週間 / 2 週間 / 1 か月 / 2 か月
表示順 — 種類順 / タイトル / 著者名 / 出版者 / 新しい順

図1は新着図書検索の結果の表示である。デフォルト設定は、「検索対象＝新着のみ」、「検索期間＝1 か月」、「表示順＝種類順」で自動的に検索している。検索対象、検索期間、表示順のそれぞれをプルダウンメニューで変更できる。

試しに「検索対象＝新刊のみ」に変更すると、検索結果が「新刊図書検索__該当件数は 631 件です。」と変化した。

新着図書 853 件 > 新刊図書 631 件 であるから、新刊図書の方が対象範囲が狭いことは類推できるが、「ヘルプ」等での定義の解説がないので推測の範囲である。

また、画面の左側には「ジャンルで絞り込む」のウィンドウが表示されている。そこでは料理、旅行、住まいと暮らし等から始まる「ツタヤ分類」の区分が示されている。

この「ジャンルで絞り込む」の機能で、「有馬一般書」を指定して、「絞り込む」ボタンを押したが、「新着図書検索__該当件数は 0 件です。」と表示され、実際には絞り込み機能で、有馬図書館を指定することはできない。有馬図書館のみ所蔵の資料の書誌レコードには、原則として「ツタヤ分類」が付与されていないので¹⁰、ジャンルでの検索は不能と考えられる。なお、海老名市立有馬図書館は、TRC が指定管理で運営している。

ただし、書誌詳細情報を表示して、所蔵情報を確認すると、有馬図書館の所在情報も示されたので、「新着図書検索 / 新刊図書検索」機能本体で

は、有馬図書館の書誌も検索対象であることが判明した。

また、海老名市立中央図書館の場合は、「ツタヤ分類」の区分の最後である「AV 資料」の後に、「有馬一般書」という表示を追加している。

なお、海老名市教育委員会は、2018年1月19日開催の1月定例会において、海老名市立図書館指定管理者制度の継続について、議決を行っている¹¹。また、会議資料から2014年4月1日から2019年3月31日まで(5年間)のCCC・TRC共同事業体への支払額が、約16億1000万円(5年間総計)であることが明示された。

2.2.4 「ランキング」表示機能

「ランキング」機能は、「予約ランキング / 貸出ランキング」機能である。デフォルトは、「予約ランキング__すべての図書」となっている。選択で「貸出ランキング」機能と切り替えられる。「期間を絞り込む」で、期間を「1 週間 / 2 週間 / 1 か月 / 2 か月」をプルダウンメニューから指定できる。

2.2.5 「イベント」表示機能

「イベント」表示機能は、中央図書館、有馬図書館でのイベント(催し物)の案内である。イベントの種類が、「すべて / こども / ワークショップ / トークイベント / セミナー / 展示」から指定できる。デフォルトは「すべて」となっている。

また、イベントの表示順を、プルダウンメニューで「公開日順 / 開催日時」から指定できる。デフォルトは「公開日順」となっている。

対象図書館を「すべて / 中央図書館 / 有馬図書館」から、プルダウンメニューで指定できる。デフォルトは「すべて」となっている。

左側に2018年1月～12月までの表示があり、イベントの月単位での指定が可能である。

また、海老名市立図書館の場合、2015年～2017年のイベントのアーカイブも表示ができる。

3. こどもともしょかん機能

「こどもともしょかん」を選択すると、「こどもともしょかん」のシステムへ移動する¹²。

ここで、武雄市図書館以下、高梁市立図書館ま

4.1 「簡単検索」機能

武雄市図書館システムには、明示的な「簡単検索」機能はない。ただし、トップページ等の右上に「本をさがす」と表示した検索窓がある。ここにキーワードを入力し、検索を実行すると、「詳細検索結果」が表示される。疑似的には、「簡単検索機能」に近い。

海老名市立図書館には、「かんたん検索」システムがある。対象資料は、図書、雑誌、AV、音訳の中からチェックボックスで指定するようになっている。検索キーワードの入力窓があり、キーワードの入力後、「検索する」ボタンを押せばよい。

複数のキーワードをスペースを挟んで入力すると、AND 検索となる。

例えば、キーワードに「日本」のような検索結果件数が多くなると、次のメッセージがシステムから表示される。

エラー

いつもご利用ありがとうございます。

検索結果は 1000 件以上でした。条件を変えて再検索してください。

しかし、この海老名市立図書館のメッセージではなにがエラーなのかが不明である。利用者は戸惑うのではないだろうか。

また、検索キーワードに「料理 肉」を入力し、実行すると、214 件の検索結果であった。左側に「ジャンルで絞り込む」という画面が登場するが、表示されている総件数は、190 件であり、検索結果の 214 件より少ない。

これは、ジャンルが入力されていない書誌レコードが存在するためである。「ジャンルで絞り込む」という機能を使用すると、ジャンルが入力されていない資料は、欠落してしまう。

これは、多賀城市立図書館等のツタヤ図書館システムに共通のバグである。

多賀城市立図書館の「かんたん検索」システムは、対象資料は、図書、雑誌、AV、行政の中からチェックボックスで指定するようになっている。

試しに対象資料を「行政」、キーワードを「多賀城」で検索をかけると、994 件がヒットした。多

賀城市の歳入歳出決算書、多賀城市職員録、多賀城市議会記録などが主な内容である。いずれもジャンルは、「歴史・郷土 / 郷土 / 東北 / 宮城」が付されていた。

キーワードに「日本」を入力して、検索を実行すると、海老名市立図書館の OPAC と同一のエラーメッセージが返ってきた。

高梁市立図書館の「かんたん検索」システムは、対象資料は、図書、雑誌、AV から指定する仕組みである。

先の 2 図書館と異なり、「かんたん検索」においても、対象館が指定できる。対象館は高梁市図書館、成羽図書館及び有漢図書室ほか 2 図書室と移動図書館である。

キーワードに「日本」を入力して、検索を実行したら、「検索結果一覧 該当件数は 1000 件です。」と表示された。実際には、検索結果は 1000 件を超えている。

なお、移動図書館のみを対象館に指定して検索を行ってもヒットはしない。

周南市立德山駅前図書館の「かんたん検索」システムは、対象資料は、図書、雑誌、AV の中からチェックボックスで指定するようになっている。

周南市立德山駅前図書館でも、高梁市立図書館と同じく、「かんたん検索」においても、対象館が指定できる。対象館は中央本館、徳山駅前図書館ほか 4 図書館と移動図書館 2 つ、Web 館である。

キーワードに「日本」を入力して、検索を実行すると、「検索結果一覧 該当件数は 1000 件です。」と表示された。高梁市立図書館と同じバグである。

また、対象館に新設の徳山駅前図書館を選択し、検索キーワードに「料理 肉」を入力し、実行すると、711 件の検索結果であった。左側に「ジャンルで絞り込む」という画面が登場するが、表示されている総件数は、708 件であり、検索結果の 711 件より少ない。

徳山駅前図書館は、すべての資料を新規に購入し、書誌レコードを作成したはずであるが、はや欠陥書誌が存在している。

4.2 「詳細検索」機能

4.2.1 武雄市図書館 OPAC

武雄市図書館 OPAC の「詳細検索」機能での対

象資料は、図書、雑誌、AVの中からチェックボックスで指定するようになっている。

検索項目はデフォルトでは、タイトル、著者、出版者、キーワードであるが、それぞれの項目ごとにプルダウンメニューを開いて、タイトル、著者、出版者、キーワードを選択できる。

さらに各項目単位で、デフォルトが「を含む」が設定されているが、プルダウンメニューを開いて、「で始まる」、「と一致する」、「で終わる」の前方一致、完全一致、後方一致の検索方式を選択できる。加えて、隣のボックスにデフォルトで「かつ」が設定されているが、プルダウンメニューを開いて、「または」、「でない」というように、AND、OR、NOT 検索が選べる。

検索結果の絞り込み条件は、ツタヤ分類によるジャンル指定、出版年の範囲、巻次/巻号が指定できる。

また、この他に単独検索として、ISBN/ISSN/資料コードを指定した検索がある。

4.2.2 海老名市立図書館

海老名市立図書館 OPAC の「詳細検索」機能での対象資料は、図書、雑誌、AV、音訳の中からチェックボックスで指定する。対象館は、中央図書館、有馬図書館、かしわ台駅、えび〜にゃハウス、市民図書室から指定する。

デフォルトの検索ボックスは、書名、著者名、出版者、キーワード、ISBN が用意されている。ISBN を除いては、プルダウンメニューを開いて、書名、著者名、出版者、叢書名、一般件名、個人件名、学習件名、キーワード、内容細目を選択できる。検索対象範囲の選択肢は多い。

検索ボックスの横に、デフォルトは「を含む」としたボックスがある。プルダウンメニューを開いて、「で始まる」、「と一致する」に変更できる。

加えて、隣のボックスにデフォルトで「かつ」が設定されているが、プルダウンメニューを開いて、「または」、「でない」というように、AND、OR、NOT 検索が選べる。

また、単独検索として、ISBN/ISSN/資料コードを指定した検索がある。

検索結果の絞り込み条件は、ツタヤ分類によるジャンル指定、出版年の範囲、巻次/巻号、NDC

分類が指定できる。

4.2.3 多賀城市立図書館

多賀城市立図書館 OPAC の「詳細検索」機能での対象資料は図書、雑誌、AV、行政の中からチェックボックスで指定する。対象館は、多賀城本館、山王分室、大代分室、移動図書館から指定する。

デフォルトの検索ボックスは、書名、著者名、出版者、キーワード、ISBN が用意されている。ISBN を除いては、プルダウンメニューを開いて、書名、著者名、出版者、叢書名、一般件名、個人件名、学習件名、キーワード、内容細目を選択できる。検索対象範囲の選択肢は多い。この部分は、海老名市立図書館と同様である。なお、単独検索として、ISBN/ISSN/資料コードを指定した検索がある。

検索ボックスの横に、デフォルトは「を含む」としたボックスがある。プルダウンメニューを開いて、「で始まる」、「と一致する」に変更できる。

加えて、隣のボックスにデフォルトで「かつ」が設定されているが、プルダウンメニューを開いて、「または」、「でない」というように、AND、OR、NOT 検索が選べる。この部分は、海老名市立図書館の OPAC 機能と同様である。

検索結果の絞り込み条件は、ツタヤ分類によるジャンル指定、出版年の範囲、巻次/巻号、NDC 分類が指定できる。海老名市立図書館と同様の機能である。

単独検索として、ISBN/ISSN/資料コードを指定した検索がある。

4.2.4 高梁市立図書館

高梁市立図書館 OPAC の「詳細検索」機能での対象資料は、図書、雑誌、AVの中からチェックボックスで指定する。対象館は、高梁市図書館、成羽図書館、有漢図書室、川上図書室、備中図書室、移動図書館から指定する。

デフォルトの検索ボックスは、書名、著者名、出版者、キーワード、ISBN が用意されている。ISBN を除いては、プルダウンメニューを開いて、書名、著者名、出版者、キーワードを選択できる。

ただし、例えば書名検索では、検索対象に叢書名、内容細目なども含めているので、OPAC 検索

機能の実際は、海老名市立図書館と同様と推測できる。利用者インターフェイスを簡素にしたと理解する。

検索ボックスの横に、デフォルトは「を含む」としたボックスがある。プルダウンメニューを開いて、「で始まる」、「と一致する」に変更できる。

検索結果の絞り込み条件は、ツタヤ分類によるジャンル指定、出版年の範囲、NDC 分類が指定できる。単独検索として、ISBN / 資料コードを指定した検索がある¹³。

4.2.5 周南市立図書館

周南市立図書館の詳細検索システムは、高梁市立図書館システムと同一である。対象館が、中央図書館、徳山駅前図書館ほか 4 図書館、及び、2 つの移動図書館である¹⁴。

4.3 OPAC 検索機能のまとめ

本節では、OPAC 検索機能のまとめを行う。

4.3.1 検索対象資料

検索対象資料は、5 図書館ともに図書、雑誌、AV は共通するが、音訳、行政の有無が図書館により異なる。

4.3.1.1 海老名市立図書館の音訳資料

海老名市立図書館は、検索対象資料に音訳が追加されている。しかし、同館の「ご利用ガイド → 障がいのある方へのサービス → 音訳図書一覧」をたどると、onyaku1712.pdf ファイルがある。どのような利用者がこのファイルを参照すると考えているのか、疑問が残る。また、ファイルの更新日が、2017 年 12 月 30 日であり、2015 年 10 月のリニューアルオープンから 3 年半が経過しているが、音訳資料の点数は 34 点のままである。

一方、OPAC で対象資料に音訳資料を選び、音訳図書一覧のある検索を行うと確かにヒットする。例えば、次の検索結果が表示される。

図 4 海老名市立図書館 音訳図書の検索結果

音訳図書 かまいたち(HC 専用)
(中略)
収録時間 : 6 時間 47 分 13 秒

帯出区分	禁帯出 館内利用のみ可
所蔵館	中央図書館
所蔵場所	中央書庫 A1 階

この表示では 6 時間を超える資料が、「HC 専用」¹⁵であり、「禁帯出」、「館内利用のみ可」となっている。一方、先の音訳図書一覧の PDF ファイルには、「ご利用いただける方はハンディキャップサービス登録の方のみ お一人様 2 点まで」という表現がある。運営内容の広報に齟齬がありはしまいだらうか。

4.3.1.2 多賀城市立図書館の行政資料

多賀城市立図書館の OPAC では、検索対象資料に行政資料がある。試しに、検索対象資料に行政資料を指定し検索を行うと、多賀城市の年度単位での歳入歳出、職員録、議会議事録などが検索されたが、検索結果の表示順が見にくく、また、資料が体系的に収集されているさまが感じられなかった。

5. ライフスタイル分類 : 「ジャンル」という区分項目

CCC が運営受託をしているツタヤ図書館では、武雄市図書館始め 5 館の OPAC には、「ジャンル」という名称の下に、NDC とは異なる特異な項目区分が採用されている。

「ジャンル」は、「大ジャンル」、「中ジャンル」、「小ジャンル」に階層化されており、ジャンルによっては、小ジャンルの下位区分に「仕切」－「細目」という下位区分が存在している。

武雄市図書館では、第一ジャンルには 24 区分がある。以下に、第一ジャンルの区分を表示順に列挙する。

図 5 武雄市図書館の第一ジャンル 24 区分

PC	社会
コミック	人文
デザイン・アート	政治・国際
ビジネス	生活・趣味実用

医療・看護福祉	文学・文芸書
技術	法律
教育	旅行
経済	料理
建築	歴史・郷土
語学・参考書	児童書
産業	AV 資料
自然科学	その他

次に、海老名市立中央図書館以降の4館の「ツタヤ図書館」には以下の29の第一次区分の「大ジャンル」がある。

図6 海老名市立中央図書館等の大ジャンル29区分

料理	政治・国際
旅行	社会
住まいと暮らし	法律
美容・健康	IT
ファッション	自然科学
スポーツ・アウトドア	産業
趣味実用	技術
人文	建築
児童書	医療・看護福祉
語学・参考書	教育
文学・文芸書	雑誌
歴史・郷土	コミック
アート	洋書
経済	AV 資料
ビジネス	

なお、多賀城市立図書館、高梁市立図書館、周南市立図書館のOPACを確認すると、海老名市立中央図書館の「大ジャンル」と同一のジャンル名、同一順序であった。海老名市立中央図書館以降の「大ジャンル」は変更されていない。ただし、海老名市立中央図書館では新たに「有馬一般」という大ジャンルが追加展開されている¹⁶。

なお、中ジャンル以降については、一部の変更があるが言及を略す。

6. 運営形態等

6.1 武雄市図書館、武雄市こども図書館

武雄市図書館は、佐賀県武雄市が条例で設置を定めた複合施設、武雄市図書館・歴史資料館の通称である。武雄市図書館は、2013年4月3日にリニューアル開館し、指定管理者としてCCCと5年間契約をした。なお、続けて5年間の契約延長を決めている¹⁷。

また、武雄市こども図書館は、2017年10月1日に新築開館し、CCCと5年間指定管理契約をしている¹⁸。すなわち、両方図書館共にCCCの指定管理にあり、システムも全面的にCCCのシステムに一元化している。

しかし、CCCの受託以前の資料はNDC分類、受託後はCCCのライフスタイル分類と混在しているため、OPACの検索結果の絞り込みに齟齬をきたしているが、放置されている。

6.2 海老名市立図書館

海老名市立図書館は、市の北寄りに中央図書館、南に有馬図書館をもち、その他、市内数箇所に予約資料受け取りや資料返却のできるコーナーが設けられている。2011年から図書館2館の運営業務を図書館流通センター(以下、TRC)に委託した。2014年からは指定管理者制度による運営を開始、CCCおよびTRCの共同事業体が指定管理者となっている。2015年10月1日には中央図書館がフロア規模を拡大し、書店やカフェを併設して改装オープンした。いわゆる「ツタヤ図書館」としては武雄市図書館に次ぐ2例目となった¹⁹。

図書館の全体運営をめぐって、CCCとTRCは提携を解消する動きがあったが、市の仲立ちにより、現行契約期間は契約継続で収まった。契約期限は、2019年3月までである。

実質的な運営は、中央図書館はCCCが、有馬図書館はTRCが行っている。図書館システム等はCCCシステムを使用している。

中央図書館はCCCのライフスタイル分類とNDC分類の混在²⁰、有馬図書館はNDC分類であるため、OPACの検索結果の絞り込みに齟齬をきたしているが、放置されている。

すでに教育委員会では次の5年間の指定管理の継続を決めている。

6.3 多賀城市立図書館

多賀城市立図書館本館は2016年3月21日、新設・移転の上、CCCの指定管理でニューオープンした。多賀城市立図書館は2つの分館、移動図書館を持つ。図書館システムはCCC方式を採用している。

CCCの受託以前の資料はNDC分類、受託後はCCCのライフスタイル分類と混在しているので、OPACの検索結果の絞り込みに齟齬をきたしているが、放置されている。

6.4 高梁市立図書館

高梁市立図書館は、岡山県高梁市の公共図書館の総称であり、旧高梁市域のJR伯備線備中高梁駅前にある高梁市図書館、旧成羽町域の高梁市立成羽図書館の図書館2館に加えて図書室3室からなる。高梁市図書館は総合施設内の新館で、CCCが指定管理者として運営を受託している²¹。

図書館システムは、CCC方式を採用している。

CCCの受託以前の資料はNDC分類、受託後はCCCのライフスタイル分類と混在しているので、OPACの検索結果の絞り込みに齟齬をきたしているが、放置されている。

6.5 周南市立図書館

2003年(平成15年)4月21日の市町村合併に伴い、旧2市2町(徳山市、新南陽市、熊毛町、鹿野町)の各公共図書館を引き継ぐ形で誕生した。

2018年(平成30年)2月には新たにJR徳山駅前図書館が新設・開館し、現在は中央図書館を中心とした以下の6館体制となっている。中央図書館、新南陽図書館、福川図書館、熊毛図書館、鹿野図書館、徳山駅前図書館である²²。ただし、新設の徳山駅前図書館は、CCCが指定管理で受託している²³。

6.5.1 2つの図書館サイト

周南市立図書館のウェブサイトは、市立図書館サイトが運営している²⁴。トップサイトでは、中央図書館、新南陽図書館、福川図書館、熊毛図書館、鹿野図書館、徳山駅前図書館の紹介が行われているが、徳山駅前図書館のみCCCの独自サイトへのリンクをしている。

このように、CCCが受託した新設の徳山駅前図書館を除いては、Webサイト及びOPACは、中央図書館が運営・提供をしている²⁵。

一方、徳山駅前図書館は「ツタヤ図書館」であり、Webサイト及びOPACも別途に異なるシステムで運営をしている²⁶。

周南市立図書館では、従来から運営されてきた中央図書館及びその分館群と、今回新設された徳山駅前図書館とでは、運営主体もURLも異なる。

この2つの異なるシステム間の連携、棲み分けやOPACの展開については、後に詳しく取り上げる。

なお、徳山駅前図書館は「徳山駅前賑わい交流施設」の中核施設として構想されたものである²⁷。

ただし、徳山駅前図書館が駅下車直結、徒歩1分であるが、一方、中央図書館も駅から徒歩5分の立地であり、通常の同一行政における複数の図書館配置計画、全域サービス計画では考えにくい配置である²⁸。

6.5.2 中央図書館 Web サイト

中央図書館 Web サイトでは、トップページに利用案内、施設案内、お知らせほか計13件の情報リンクがある²⁹。

(1) 利用案内

開館時間、休館日ほか計12件の利用案内があり、それぞれリンクにより該当する下位ページに移動ができる。また、移動図書館「やまびこ号」の巡回日程、スポット場所等も示されている。

(2) 施設案内

施設案内では、中央図書館ほか5分館(徳山駅前図書館を含む)の案内がある。徳山駅前図書館へのリンクは特に無く、メールアドレスの記載も無い。

(3) お知らせ

図書館行事、イベントが中央図書館ほか4分館(徳山駅前図書館を含まない)の案内がある。徳山駅前図書館については、「イベント情報は、徳山駅前図書館のホームページをご覧ください。」という案内のみで実際のイベントの内容はなく、徳山駅前図書館へのリンクをしている。リンク先は、「徳山駅前図書館」－「イベント一覧」である³⁰。

(4) 図書館カレンダー

図書館カレンダーでは、中央図書館ほか5分館

(徳山駅前図書館を含む)の案内がある。徳山駅前図書館の開館日数の多さ、開館時間帯の長さが際立っている³¹。

(5) 移動図書館案内

移動図書館案内では、「移動図書館'やまびこ号'巡回日程 2018」が掲載されている³²。

(6) 蔵書検索

蔵書検索の一つが、中央図書館が提供する「簡単検索」、「詳しく探す」の2種類の検索システムである³³。デフォルトは、「簡単検索」システムである。

6.5.3 中央図書館検索システム

次に周南市立中央図書館が提供している検索システムを取り上げる。

6.5.3.1 「簡単検索」システム

「簡単検索」システムは、資料区分は図書、雑誌、AVをチェックボックスで指定する。

検索窓は、キーワード、著者の2つである。検索窓の右側にサブボックスがあり、「をすべて含む(and)」、「のいずれかを含む(or)」検索が指定できる。検索窓で間にスペースを挟んで複数の語彙を入力すると、入力語彙間のAND検索を行う。

6.5.3.2 「詳しく探す」(詳細検索)

「詳しく探す」は、資料区分は図書、雑誌、AVをチェックボックスで指定する。

検索窓は、キーワード、書名、著者、出版年、出版年、ISBN、件名、分類の8項目である。

キーワード、書名、著者、出版者は、AND検索とOR検索を切り替えられる。

出版年は、年月による出版年の範囲指定である。

件名検索では、AND検索、OR検索、前方一致検索、完全一致検索が指定できる。

表示件数は10件、25件、50件、100件が選択できる。

表示順序は、なし(資料ID順)、タイトル順、著者名順、出版年順、分類順から選択する。

このように周南市立中央図書館のOPACは、一般的な公立図書館の提供OPACの機能を概ね網羅している。

6.5.4 分類から探す

中央図書館が提供する「分類から探す」メニューは、多くのサブメニューを持つ。メニュー名の一覧を示す。

- ・新着資料から探す
- ・最新出版情報から探す
- ・ベストリーダーから探す
- ・ベスト予約から探す
- ・日本十進分類から探す
- ・予約ランキングから探す

6.5.5 かんたんけんさく

「こどもよう」のリンクを選択すると、表記がひらがなになっている「こどもよう かんたんけんさく」に移動する。検索機能は、「簡単検索」機能と同一である。

6.5.6 徳山駅前図書館(ツタヤ図書館)システム

徳山駅前図書館を運営するCCCが提供する検索システムでは、「かんたん検索」、「詳細検索」の2種類が提供されている³⁴。これ以外に「こどもとしょかん」機能があり、その一部で子ども向け検索機能がある³⁵。

まず、徳山駅前図書館のウェブサイトのデザインは先行する高梁市立図書館のウェブサイトを彷彿とさせる。ツタヤ図書館の基本デザインである。「予約カート」の確認機能が新たに追加されている。機能として、「予約する」または「受取順を指定する」を選択する。「予約する」は貸出可能になり次第順不同で貸出し、「受取順を指定する」は指定した順で貸出す機能である³⁶。

OPACの利用者インターフェイスの設計は、高梁市立図書館とほぼ同一である。

(1) 対象資料[区分]の選択肢(チェックボックスによる選択)は、「図書、雑誌、AV」である。多賀城市立図書館にあった「行政資料」や海老名市立図書館にあった「音訳」という区分はない。

(2) 検索モードは、「かんたん検索」モードと「詳細検索」モードがある。

(3) 「かんたん検索」モード、「詳細検索」モード共に、所蔵館の指定ができる。

徳山駅前図書館では、中央図書館ほか5分館2移動図書館及び「Web館」が指定できる³⁷。

チェックボックスの2つの移動図書館であるが、「やまびこ号」については、中央図書館のWebサイトに巡回コース、日時等が掲載されている。しかし、もう1台の移動図書館「なかよし号」については、情報がない。徳山駅前図書館のトップページにある「サイト内検索」で検索しても、エラーが返ってくる。今後に展開をするのであろうか。

また、「Web館」の意味も判然としない。「Web館」のみを所蔵館としてOPAC検索をしても、中央図書館及び分館の所蔵検索を行うのみである。

6.5.7 徳山駅前図書館の検索システム

徳山駅前図書館の検索システムでは、「書誌検索」において、同一画面に「かんたん検索」(簡易検索)モードと「詳細検索」モードが、同時に表示される。

「かんたん検索」モードは、キーワード検索方式である。

6.5.8 「詳細検索」モード

徳山駅前図書館の「詳細検索」モードでは、一次検索項目として、書名、著者名、出版者、キーワード、ISBNの入力項目がある。またプルダウンメニューを使用すると、書名、著者名、出版者、キーワードのいずれかに入力項目が変更できる。

そして、ISBNのプルダウンメニューには、資料コードの入力項目がある。

徳山駅前図書館は、高梁市立図書館の「詳細検索」モードと同一機能である。

多賀城市立図書館の「詳細検索」モードでは、書名、著者名、出版者、キーワード以外に、叢書名、一般件名、個人件名、学習件名、内容細目が選択できたが、今回は項目を絞り込んでいる。ただし、「書名」入力、叢書名、内容細目をも対象として検索をしている。

用語の目録法的な正確さよりも、一般利用者の分かり易さを選択したのであろう。

検索式はデフォルト項目の「を含む」は、いずれも、プルダウンメニューから「で始まる」(前方一致検索)、「と一致する」(完全一致検索)を指定できる。

多賀城市立図書館システムにあった「を含む」

(キーワード検索)は、両図書館システム共にない。「を含む」(キーワード検索)は、「簡単検索」でフォローできるという考えであろう。

また、多賀城市立図書館システムにあった項目間の論理演算子の選択機能もなくなっている。デフォルト項目が「かつ」は、いずれも、プルダウンメニューから「かつ」(AND検索)、「または」(OR検索)、「でない」(NOT検索)を指定できた機能である。これもシンプルさを選択したと思われる。

また、二次検索項目として、NDC分類、出版年の範囲指定、独自分類である「ライフスタイル分類」³⁸による「ジャンル」指定項目があるが、これらは単独検索項目でなく、絞り込み検索機能である。

なお、「巻次の項目」が消えている。先行館での運営実績の上で、不必要との判断であろうか。

なお5図書館ともに、ひとつの検索項目欄に複数の語彙を入れると、それらの語彙間のAND検索となる。

なお、徳山駅前図書館の詳細検索モードにおいて、二次検索項目として、NDC分類、出版年の範囲指定、巻次の項目、独自分類である「ライフスタイル分類」による「ジャンル」指定項目があるが、これらは単独検索項目でなく、絞り込み検索機能であるのは、高梁市図書館等と同じである。

「ツタヤ図書館」はNDCを使用せず独自の分類(ライフスタイル分類)を採用している。ライフスタイル分類をOPACにおいて二次検索項目とせず、単独の検索項目とする方が、偶然の発見につながる可能性があり、「ライフスタイル分類」採用の趣旨にそぐうであろう。検索システム設計思想の一貫性が問われよう。

また両OPACともに、なお、検索結果が1,000件を超える時は、「検索結果は、1,000件です。」のメッセージと共に検索結果を表示する。これは明らかにシステム・バグである。

6.5.9 県内横断検索システム

山口県立山口図書館は、県内横断検索システムを提供している³⁹。2018年3月30日時点での参加図書館は、次である。

下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松

市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、山陽小野田市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町、県立図書館(下線は、筆者)。

当該、周南市立図書館も参加している。しかし、中央図書館が維持・提供している Web サイトには、県内横断検索システムへのリンクがない。

トップページや蔵書検索ページにおいて県内横断検索システムについてのリンクや、説明等が必要ではないだろうか。また、徳山駅前図書館の Web サイトのリンク集部分には県内横断検索システムへのリンクはあるものの、トップページや蔵書検索ページにおいて、県内横断検索システムへのリンクがない。

両館共に利用者サービスの観点からは、大きな問題であり、指摘しておきたい。また、同一施設に併設している市民活動支援センターへのリンクもしていない点も合わせて指摘しておきたい。⁴⁰。

6.5.10 その他

中央図書館 Web サイトでは、その他として、個人の利用状況の照会(ID 及び PWD の認証がある)、新着図書案内、雑誌一覧、新聞一覧、予約ベスト、貸出ベスト、郷土資料ギャラリーがある。

予約ベスト、貸出ベストは、一般図書、児童図書、郷土資料、雑誌、AV の区分で示されている。一方、徳山駅前図書館のシステムでは、「予約ランキング」(全ジャンル)の表示機能があり、さらに、ツタヤ分類での区分による絞り込み機能がある。

2 種類のシステムは、統計区分の軸が異なるので、互いに独立した集計を行っているとは推測される。

このように、延岡市立中央図書館が提供する検索機能は、工夫に満ちた機能が提供されており、明らかに徳山駅前図書館においてツタヤ図書館が提供する検索機能よりも利用者に親しい。

7. さいごに

周南市立徳山駅前図書館は、武雄市図書館システム以降、CCC による 5 館目の展開であるが、図書館システムとしては安定感に欠ける。図書館業務の指定管理者として同一の CCC と契約を結び、運営委託を実施する「ツタヤ図書館」でありながら、それぞれが微妙に異なるシステムが運営

されている。

ある意味、イージーオーダー図書館システムといえるかもしれない。

また、「ツタヤ図書館」5 館を通して、地域図書館間、全国図書館間の相互協力などへの配慮は貧しい。

なお、延岡市立図書館は、市立図書館、1 ヶ所の分館、2 ヶ所の分室がある。これらは、管理運営を、TRC が受託している。

しかし、新設複合施設「エンカルタ」内の「図書空間」は、CCC に対して蔦屋書店、スターバックス、と共に運営を委託する。2018 年 4 月 17 日に開館を行った。

延岡市の複合施設「エンカルタ」内に開室予定の「図書空間」については、オープン後に、改めて検証を行いたい。

引用文献

1 代表的な批判に次がある。

田井郁久雄「海老名市立中央図書館の問題は何か～図書館と書店、CCCとTRC」『談論風発』Vol.10 No.2, 2015.10, p.1-5.

田井郁久雄「虚像の民営化『ツタヤ図書館』」『世界』No.876, 2015.12, p.196-205.

また、『みんなの図書館』466号2016年2月では「ツタヤ図書館」の特集をしている。合わせて参照されたい。

2 武雄市図書館

<https://www.epochal.city.takeo.lg.jp/winj/opac/top.do> [確認：2018年3月30日]

3 海老名市立図書館

<https://ebina.city-library.jp/library/ja> [確認：2018年3月30日]

海老名市立図書館は複数館で構成されている。OPACと図書館全体での共通システムでは、海老名市立図書館と表記し、委託対象の中央図書館については海老名市立中央図書館と表記した。

4 多賀城市立図書館

<https://tagajo.city-library.jp/library/ja> [確認：2018年3月30日]

5 なお、多賀城市は図書館の移転及び運営形態の変更について以下のようにコメントしている。

現在の図書館は、施設が手狭で必要なサービスが提供できないこと、老朽化により利用者にとって優しい空間とはなっていないこと、図書の貸出サービスを中心として整備された施設であり限定的なサービスの提供に偏っていること、さらには立地条件と交通アクセスの課題を抱えていることなどから市民利用率が1割ほどに止まっており、利用者の固定化が払拭できない状況となっています。図書館は、より多くの市民に利用されてこそ、その真価を発揮します。

移転後の図書館は、管理・運営形態とも常に利用者の視点に立ち、来館しやすい環境の整備や居心地の良い場と空間を創出するなど、新たな取組やサービスによって全ての市民に親しまれ利用される施設になることを目指し「本と人との出会い」をテーマに「本と人」をつなぐことで「人と人」をつなぎ、豊かな文化活動の交流拠点として地域社会と市民生活の発展に貢献します。

また、CCCの高橋聡図書館カンパニー長は現地での記者会見で、新図書館の経済効果は年間

約50億円と発表している。産出根拠は示されていない。

河北新報 3月21日(月)10時11分配信
http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201603/20160321_12023.html

[確認：2018年3月30日]

6 高梁市立図書館

<https://takahashi.city-library.jp/library/> [確認：2018年3月30日]

高梁市立図書館は、高梁市図書館、成羽図書館、有漢図書室、川上図書室、備中図書室及び移動図書館から構成されている。

立地場所は、JR備中高梁駅に隣接している。鉄道でのアクセスは、特急列車で岡山駅から約35分、倉敷駅から約20分、普通列車で岡山駅から約60分、倉敷駅から約35分である。ただし、JR伯備線は、概ね1時間当たり、特急列車1本、普通列車2本程度である。

2階は、備中高梁駅とつながっており、蔦屋書店、スターバックスコーヒー及び観光案内所がある。3階が(一般)図書室と学習室、4階は児童書、読み聞かせスペース、多目的室が配置されている。

開館時間は、9:00~21:00である。

7 「TSUTAYA 図書館は何を目指すのか？CCCの責任者が語る現状と『未来』」2015年11月12日『HUFF POST Society』

<http://www.huffingtonpost.jp>

[確認：2018年3月30日]

同記事は、2015年11月11日、横浜市で開催された第17回図書館総合展のフォーラムでのCCCの図書館カンパニー長の高橋聡氏の発言である。

なお、フォーラムの記録動画は、次を参照。

<http://www.libraryfair.jp/forum/2015/1852>

[確認：2018年3月30日]

8 図書館により名称(例えばキッズライブラリー)が異なっているものもある。

9 海老名市立図書館システムで、試行したのは2018年3月6日である。

10 一部、中央館から移管されたと想定される資料についてはジャンルの入力が行われている。

11 海老名市教育委員会

(平成30年1月定例会議事日程)

http://www.city.ebina.kanagawa.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/003/124/20180119-02.pdf p.47-55. [確認：2018年3月20日]

海老名市教育委員会

(平成 30 年 1 月定例会議事日程)

日時 平成 30 年 1 月 19 日(金) 午後 2 時 00 分

場所 海老名市役所 703 会議室

教育長報告

(中略)

議案第 3 号

海老名市立図書館指定管理者制度の継続について
別紙のとおり、海老名市立図書館指定管理者制度の継続について、議決を求める。

平成 30 年 1 月 19 日提出

海老名市教育委員会

教育長 伊藤文康

提案理由

現指定管理期間終了後も、施設の効果的・効率的な運用を達成するため、指定管理者による運営としたいため

[別紙]

平成 30 年 1 月 19 日

教育委員会定例会資料

教育部 学び支援課

海老名市立図書館指定管理者制度の継続について
12 「ツタヤ図書館システム」の「こどもとしょかん」機能については、先行論文である次を参照されたい。

・川瀬綾子、北克一『ツタヤ図書館』の資料区分を検証する その 2—武雄市図書館、海老名市立図書館の「こどもとしょかん」検索システムにおけるジャンル(カテゴリー)設定を手掛かりに『資料組織化研究-e』No.68, 2016.3, p.29-50.
<http://techser.info/> [確認：2018 年 3 月 30 日]

・川瀬綾子、森美由紀、北克一『ツタヤ図書館』の「こどもとしょかん」機能の検証
『情報学』13(1), p.93-105.
<http://kiyo.info.gssc.osaka-cu.ac.jp/JI/issue/view/161> [確認：2018 年 3 月 30 日]

13 資料コードは、資料管理番号のことと類推される。

14 なお、これ以外に所蔵館指定に「Web 館」があるが、試行したところ実際の検索対象にならなかった。

15 「HC 専用」は、ハンディキャップト パーソンの略語表記であろうが、この表記が一般的な理解範囲の略語であるかは疑問である。

16 「有馬一般」という大ジャンルは、海老名市立有馬図書館の一般図書のことと推測できる。

17 武雄市図書館

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%AD%A6%E9>

[%9B%84%E5%B8%82%E5%9B%B3%E6%9B%B8%E9%A4%A8](https://ja.wikipedia.org/wiki/%9B%84%E5%B8%82%E5%9B%B3%E6%9B%B8%E9%A4%A8)

[確認：2018 年 3 月 30 日]

18 [武雄市こども図書館 概要]

<http://www.city.takeo.lg.jp/information/uploads/20171001kodomo.pdf>

[確認：2018 年 3 月 30 日]

19 海老名市図書館

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B5%B7%E8%80%81%E5%90%8D%E5%B8%82%E7%AB%8B%E5%9B%B3%E6%9B%B8%E9%A4%A8>

[確認：2018 年 3 月 30 日]

20 中央図書館は、CCC の運営受託後は、ライフスタイル分類を採用しているが、受託以前の資料は NDC 分類のままである。

21 高梁市立図書館

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%AB%98%E6%A2%81%E5%B8%82%E7%AB%8B%E5%9B%B3%E6%9B%B8%E9%A4%A8>

[確認：2018 年 3 月 30 日]

22 周南市立図書館のトップサイト

<https://shunan-library.jp/>

[確認：2018 年 3 月 30 日]

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%91%A8%E5%8D%97%E5%B8%82%E7%AB%8B%E5%9B%B3%E6%9B%B8%E9%A4%A8>

[確認：2018 年 3 月 30 日]

23 周南市立徳山駅前図書館

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%91%A8%E5%8D%97%E5%B8%82%E7%AB%8B%E5%9B%B3%E6%9B%B8%E9%A4%A8>

[確認：2018 年 3 月 30 日]

24 周南市立図書館トップサイト

<https://shunan-library.jp/>

[確認：2018 年 3 月 30 日]

25 周南市立図書館 TOP ページ

<https://shunan-library.jp>

[確認：2018 年 3 月 30 日]

26 Culture Convenience Club Co., LTD. [JP] |

<http://shunan.ekimae-library.jp>

[確認：2018 年 3 月 30 日]

なお、CCC 受託の図書館名は Web 等では、周南市立徳山駅前図書館であるが、実際の建築物の表示は「周南市立駅前図書館」と「徳山」の文字がない。

27 「徳山駅周辺整備構想」
<https://www.city.shunan.lg.jp/site/list99-597.html>
[確認：2018年3月30日]
「徳山駅周辺整備基本計画」
<https://www.city.shunan.lg.jp/site/list99.html>
[確認：2018年3月30日]
「徳山駅前広場整備基本計画」(公開要綱)
<https://www.city.shunan.lg.jp/uploaded/attachm ent/21519.pdf> [確認：2018年3月30日]
「徳山駅周辺整備事業」担当：中心市街地整備課
<https://www.city.shunan.lg.jp/site/eksieibi/>
[確認：2018年3月30日]
28 周南市立図書館利用案内
<https://shunan-library.jp/riyouannai/index.html>
[確認：2018年3月30日]
29 「周南市立図書館」
<https://shunan-library.jp/>
[確認：2018年3月30日]
30 「徳山駅前図書館」－「イベント一覧」
Culture Convenience Club Co., LTD. [JP] |
http://shunan.ekimae-library.jp/ja/event_list/
[確認：2018年3月30日]
31 「図書館カレンダー」
<https://shunan-library.jp/WebOpac/webopac/library.do>
[確認：2018年3月30日]
32 「移動図書館「やまびこ号」巡回日程 2018」
<https://shunan-library.jp/idou/index.html>
[確認：2018年3月30日]
33 中央図書館提供の蔵書検索システム
<https://shunan-library.jp/WebOpac/webopac/selectsearch.do?searchkbn=0&histnum=1>
[確認：2018年3月30日]
<https://shunan-library.jp/WebOpac/webopac/selectsearch.do?searchkbn=2&histnum=1>
[確認：2018年3月30日]
34 「徳山駅前図書館 資料を探す」
https://shunan.ekimae-library.jp/ja/library_search/conditions
[確認：2018年3月30日]
35 「こどもとしょかん」
https://shunan.ekimae-library.jp/ja/kids_menu
[確認：2018年3月30日]
36 「予約カート」
https://shunan.ekimae-library.jp/cart_list
[確認：2018年3月30日]
37 ただし、2 移動図書館として、及び「Web 館」

がある。

38 この独自分類(ライフスタイル分類)について、CCC(カルチュア・コンビニエンス・クラブ)社長の増田宗昭氏は、インタビューにおいて次のように述べている。

—CCCの独自分類が戻しにくくしているのでは。利用者も探しにくい。

増田；探しにくいって言う人もいるし、発見があるって言う人もいる。

—もし、自治体が「いや、これは探しにくさのデメリットのほうが大きい」となったら……。

増田；それはCCCを採用しない。

—となると分類方法を変える？

増田；いや、変えない。市が俺たちを採用しないってことよ。俺らの持ち味は独自分類だから。

—CCCが指定管理者である以上は、独自分類を続けるということですか？

増田；じゃなければやる意味がない。

「独占直撃 図書館のこと、本のことすべてにゆえよう」『週刊東洋経済』2015年10月31日号, p.53.

しかし、我々が一連の論文群「「ツタヤ図書館」の資料区分を検証する」で確認をしてきた範囲では、「増田；じゃなければやる意味がない」ほどの分類体系とは考えられない。

39 「山口県内図書館横断検索」

<https://library.pref.yamaguchi.lg.jp/wo/cross/>
[確認・2018年3月30日]

40 周南市市民活動支援センター

<https://www.city.shunan.lg.jp/soshiki/15/3511.html>
[確認：2018年3月30日]

[2018年4月10日受理]